

共に支えあう社会を目指す—矯風会講演会

テーマ 「日本の選択（できない）とドイツの選択（できる）

—福島原発事故以降の決断—

講師 シュペネマン偕美さん（プロフィールは裏面にあります）

（ウイングス京都社会学講座講師 / 日本キリスト教団宇治教会会員）

東日本大震災、そして福島原発事故により、大変な放射能被害が起きました。事故から二年半になる中で、八月末には第一原発からの汚染水洩れが始まり、海に大量に流れている状態は、いつ收拾がつくのでしょうか？ 家族を失い、家や土地を奪われた方々の悲しみと苦しみは、今もなお続いています。

毎年ドイツへ行かれるシュペネマンさんは、2011年8月の福島原発事故に対して、ドイツ市民の厳しく積極的な反応と意見にショックを受け、日本市民との違いを重く受け止めて帰国されました。ドイツはチェルノブイリの原発事故以来、国民的意見を受けて政府が原発を止めることを宣言しました。

生命を奪う原発から自然エネルギーの方向に進む道を、シュペネマンさんのお話を通してご一緒に考えたいと思います。

・時 2013年10月19日（土）13:30～15:30（開場 13:00）

・所 日本キリスト教団丸太町教会（地図は裏に）

（京都市左京区丸太町通川端東入） Tel. 075-771-2086

来聴歓迎！ 申込不要！ 参加費無料！

（但し 資料代 200円を頂きます）

主催 公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会

後援 日本キリスト教団滋賀、南丹及び京都地区女性会

連絡先 矯風会京都グループ 北垣（075-495-7341） / 冨田（075-312-9027）